

留学報告書

苅田 裕也

2017年6月

UC Berkeley, Biophysics Graduate Group 1年目の苅田裕也です。船井情報科学財団からのご支援をいただいて2016年度から留学をしています。

1 授業と研究

今学期の履修は少し多めでした。必修のセミナーに加え、“Population and Evolutionary Genetics”, “Principle of Molecular Biophysics”を履修し、“General Genetics”の前半を聴講しました。加えて急に研究倫理を履修する必要がでたため、春学期の前半は忙しかった記憶があります。意識的にBiology寄りの勉強を多くしたので、新しく学ぶことが多かったです。

研究面では、ふたつめのローテーションであるOskar Hallatschekのラボへ気持ちが固まったため、みつつめのローテーションではこれから必要になる実験技術を学ぶため、Jasper Rineの下で酵母の遺伝子のunsilencingを研究しました。雰囲気の良いラボで、事あるごとにお祝いパーティーがあつたり、Napaへ豪華旅行があつたり、実験室で筋トレがはじまつたりと楽しい日々でした。

授業が終わったあとはノビノビ研究できています。現在はrotationで携わつた研究を継続しつつ、自分の独自のテーマを探しているところです。研究室としての大きなプロジェクトもあるので、バランスを取って並行していきます。5月にはStanfordのDaniel Fisherのグループとの合同ミーティングもありました。ポスターセッションや食事会もあり、ミニ研究会といった感じです。内容が面白かつたのはもちろんですが、会場や食事の手配をおこなつてくれた秘書の方の手腕にひっそりと感服していました。Administrative Professional Dayという、事務の方々に感謝する祝日があるのも頷けます。日本の大学も導入するべきではないでしょうか。

2 Admissionの様子

内部生としてadmissionの流れの一部を垣間見ることができたので、これから出願予定の方の参考に、感じたことを書いておきます。Admissionの中で現地面接に呼ばれた場合、食事の席や懇親会で内部生と話す機会があるか思います。これは出願者にとっては学生のナマの声を聞ける良い機会なのですが、同時に審査の一部でもあります。私の学科では、内部生は共有のスプレッドシートに話した候補者の印象を記入するよう求められています。

評価基準は個々の学生に委ねられていますが、社交性・熱意・分野への理解、のみつつが大きな評価対象であるように感じました。入学候補者に対する質問は様々ですが、基本的には「何でこの大学(この学科)に出願したの?」、「学部では何の研究をしたの?」、「どんな研究(ラボ)に興味があるの?」あたりはほぼ必ず交わされる会話です。質問自体は先生が行う面接と大差ないですが、基本はフランクな会話ですので、質問に答えるだけでなく逆に質問して会話を繋げると良いと思います。「このラボに興味があるけど、内部生から見てぶっちゃけどう思う?」とか、「別の大学のこの先生も気になってるけど、どっちにどういう強みがあると思う?」とか、先生では答えにくい質問をぶつけてはどうでしょうか。

3 生活

もともとゲームが好きで、家での自由時間によくゲームをしていました。ホームシックを解消するために信長の野望で日本を統一していたのですが、そのうちゲーム時間も英語の勉強に充てたほうが良いのではと感じるようになりました。そこで手を出したのが英語のゲームです。といってもアクションではあまり勉強にならないので、Final Fantasy のような日本発の RPG がおすすめです。Movie が多くて好きになれなかった FF も、英語の勉強と考えるとお得感が増します。Final Fantasy X のおかげで、聖地巡礼、神通力、悪霊といった、役立つかどうか微妙な英単語に精通することができました。

食事は自炊することが多いのですが、今学期はタイ料理に挑戦しています。パッタイを中心に作っていますが、まだどうもナンプラーの臭さに慣れません。ナンプラーのブランドの問題なのか調理法の問題なのかもよくわかりません。ナンプラーの扱いに詳しい人がいましたら、ご教授いただけると嬉しいです。

冬学期は、同じ船井奨学生の金石さんの所属するソフトボールチームに混ぜてもらっていましたが、夏には bio 系のソフトボールリーグに参加する予定です。今年からチーム T シャツを作るようで、野球ボールの縫い目を DNA に見立てて CRISPR-Cas9 技術をモチーフにした素敵なロゴが入っていました。6 月後半から試合が始まるのですが、最近は強い日差しに夏バテ気味なので、少し不安です。つい最近、野球観戦の際の日焼けで両膝を火傷したばかりですので、熱中症に十分気をつけて楽しみたいと思います。



図1 Fish sauce (ナンプラー)。格闘中です。